

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その4）です。

## ◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2022 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学 online」の場をお借りして、関市内の19企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

## ◇ 事業所紹介

### 【関中央病院】

当院は、二次救急から急性期、慢性期の疾患に対応しております。

診療にあたっては、医師や看護師、薬剤師、そして管理栄養士、理学療法士等が協力して、一人ひとりの患者様を見守る「チーム医療」体制をとり、たとえばNST

(Nutrition Support Team/栄養サポートチーム)を稼働させ、疾患の重篤化の予防に役立たせるなど、全職員の総力を結集し、疾患の早期発見、早期社会復帰を支援しています。

そのため、医師は当然のこと、各コメディカルスタッフも学会、研究会活動を積極的に行い自己研鑽に励み、医療レベルの向上に努めています。その一方で、最新の医療機器を導入し、より正確、そして迅速な診断や治療を実現させています。また、近年では病診連携も積極的に推進。診療所との信頼関係をベースに医療の連続性を確保し、地域の医療機関とともに、地域医療全体の充実に貢献していきたいと考えています。



【HP】 <https://sekichuo.jp/>

関連するSDGsの目標		
-------------	---	---

## ◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

僕は、放射線技師の先生にお世話になったことが少なかったのですが、今回の講座を聞いて、病院の色々な専門職について知ることが出来ました。病院の先生の話聞くことのできる機会は少ないと思うので、今回の講座を受けてよかったなと思いました。

知らなかった職種があったり、聞いたことはある職種でも、どのような仕事をしているか分からなかったりと、新しく知ったことが沢山ありました。私は将来病院で働こうと考えているので、今回の講座はとてもためになりました。私は特に理学療法士さんの「笑顔を諦めない」という言葉がとても印象に残っています。どんなに大変でも一番に患者さんのことを考え、笑顔を見るために頑張っている姿勢はとてもかっこいいと思ったし、素敵だと思いました。

病院と言っても、怪我や病気を治すだけでなく、訪問看護ステーションやリハビリ専門など怪我や病気の状態に合わせて治していけるように、様々な場所があることを知りました。約300人ほどの方々が検査、手術、リハビリ、その後のケアなどの分野に分かれて分担することで、患者さんを効率的に治していくシステムが整えられていることに驚きました。それぞれの職業の繋がりが強く、病院が一つのチームになっているからこそ、多くの患者さんが救われているのだと思いました。

僕は元々医療系の職に就きたいと思っていて、興味がありました。両親が医療系の職に就いているので、医療について少し知っているつもりでしたが、今回話を聞いて、まだまだ沢山知ることがあると感じました。職業でも、聞いたことがない職種の方の話も聞いてとても良かったです。一言に医療と言っても様々な形で携わることができると学べたので、今後の進路選択の時に今日のことを思い出したいです。ありがとうございました。

今回の講座でどのような医療関係の仕事があるか知ることができました。私は放射線治療を受けたことがあるのですが、実際どのような仕事内容なのかを知らなかったのができてよかったです。エコーも放射線分野と知り、驚きました。これから進路を決める際に今回の講座を参考にしたいと思いました。

自分が知っていた看護師や栄養士の他に、言語聴覚士や介護士、作業療法士などたくさんの方が中央病院に集まって仕事をしていることが分かりました。それぞれの職業の方が丁寧に仕事内容を伝えてくださったので、具体的なことまで知れてよかったです。また、やりがいを感じる時は患者さんの笑顔を見た時だと聞いたときに、自分も将来、どんな仕事についてもお客さんの笑顔を大切にしたいと思いました。自分は医療系の仕事にも興味があるので、気になった看護師と言語聴覚士についてももっと調べてみたいと思います。また、家の近くに大きな病院もあるので、立ち寄った際にはどんな働き方をしているか様子を観察してみたいです。

講義には、薬剤師、管理栄養士、作業療法士、放射線技師、検査技師、理学療法士、言語療法士、の方々がいらっしゃり、知らなかった職業や仕事内容を学びました。特に、言語療法士については今回の講義で初めて名前を聞いて、リハビリを担当する職業にも分野がはっきりとわかれていることに驚きました。どの仕事も、患者さんのために何かができ、患者さんが病気になる前のようになったら嬉しいとおっしゃっていました。

はじめは医療についてあまり興味がなかったし、関中央病院の行っていることも想像がつかなかったです。講義を聞いて、関中央病院は精密な機械を用いて患者さんの治療や検診をしていることを知りました。また、講義の中で、“笑顔を諦めない”というスローガンを掲げていることを聞いて、素敵だと思いました。職員さんへ向けた「生きがいは何ですか？」という質問に「患者さんが笑顔でいてくれたり、感謝をしてくださる事です」と答えていたのも印象深かったです。

身近にある病院で働いている人が医者と看護師くらいしか思いつかなかったけど、話を聞いていくと、理学療法士、放射線技師、言語聴覚士など聞いたことない役割が沢山あってその一人一人の活躍によって一つの病院が成り立っているのだと知りました。また一つの病院で働く人でも進路が全然違っていたので、必ずしも理系に進まなければいけないわけではなく、文系でも医療に携わる職業につけると分かってとても驚きました。これからいろいろ調べていきたいと思いました。

医師や看護師の方以外の医療従事者の方の話聞く機会は今までなかったので、とても勉強になりました。言語聴覚士のように、初めて聞く職業もありました。私は将来医療関係の仕事に就いて、人々の暮らしを支えていきたいと考えています。今回の話を通して、医療に携わる仕事でも、多くの選択肢があることがわかりました。またその職業の需要と供給のバランスや給料などのなかなか聞きづらい話もしてくださったので、自分の進路を今一度真剣に見つめ直すきっかけになりました。

この講座で、自分が知らなかった職種やその仕事の内容などを知ることができて、とても貴重な時間になった。それぞれの仕事で大変なこともあるけど、向き合い、仕事をこなしていってすごいと思った。資格を取得してからも勉強をしていて、自分も勉強を頑張らなければいけないと思った。様々な職種と多くの人から支えられて、患者は健康になっていくのだと改めて思わされた。

名前は聞いたことがあるけど、実際に何をやっているのかよくわからなかった人達の仕事を知れて、興味を持つことができた。コロナ禍のリアルな医療現場の様子や、実際に医療現場に立って働いている人の、中学や高校時代のことを聞いて、非常に有意義な時間だったと思う。特に驚いたのは、学科があまり関係ないことで、正直、医療と聞くと理系が思い浮かびますが、結構文系の方もいて驚きました。

今回の講義ありがとうございました。今回は関中央病院の方々の話を聞かせていただきました。僕は今のところ、薬剤師に興味がありましたが、薬剤師以外の方々の話も聞き、他の種類の仕事にも少し興味が出てきました。また、皆さんのやりがいについて伺うときがありましたが、ほとんどの方が「患者さんが嬉しそうになったり、出来ることが増えたりする時」のように、患者さんに関することを答えていました。ここから、皆さんは人のために動けるすごい人だと思いました。人のことを考え、そして動けることは難しいことだと思うし、この世の中にあまりないことだと僕は思っています。ですが、みなさんは出来ています。だから、僕も見習って人のために動ける人になりたいです。そして、どんな仕事についても一生懸命働ける人間になりたいです。貴重なお話、ありがとうございました。

私は看護師に興味を持っていたけれど、今回の講座を通して医療関係にはさまざまな職業があることがわかったので、これからは自分でも調べて、自分の進路決定につなげていきたいと思いました。また、どの職業であっても、患者のことを一番に考え、患者さんの笑顔をやりがいとして働いていることに感動しました。私もなりたい職業を決めるときには、目的とその職業に対する想いを持ったうえで選びたいと思います。

関中央病院の中でもたくさんの仕事があって、それぞれの仕事で行っていることを具体的に知ることができたので、とても良い機会でした。また、それぞれの仕事に対するやりがいや、その仕事に就いたきっかけなども聞いて良かったです。今まであまり考えたことなかったけど、自分の進路について考えるきっかけや、調べるきっかけにもなったのでよかったです。私もやりがいを得られるような仕事に就きたいと思いました。

自分は医療系の仕事に就こうと考えていたので、関中央病院で働いている人の仕事を聞いて医師、看護師以外の仕事を知ることができた。理学療法士が主に行っているリハビリは、怪我を負った人々をけがをした部分の可動域を増やしていくこと、放射線技師はレントゲンをうまく用いて骨に異常がないか調べること、心理士は会社で働く人々に寄り添い心のよりどころになることといったように、どの仕事も必要不可欠な仕事であるので、今後どのような仕事に就くか時間をかけて決めていこうと思う。

医療といっても様々な分野があって、それぞれ専門的な知識や免許が必要であるということが分かりました。病院で働くとなると、休む暇がなくてとてもハードな仕事なのだろうなと思っていましたが、休みはきちんととれると聞いて少し安心しました。産休や育休の手当てもしっかりしていて、女性にとって働きやすい職場だということが分かりました。仕事内容は違っても、患者さんのために働くという面では同じなので、どの方も患者さんの体調が良くなったり、うれしそうな様子を見たときにやりがいを感じるとおっしゃっていて、すごいなと思いました。